

# 今連盟だより 第18号

平成14年3月1日

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務局 〒416-0903 富士市松本170-3 TEL (0545) 63-2982 望月富子

今日一日を大切に

力強く元気で

副理事長 水口みさ子

競技委員長三年生

競技委員長 松浦里子

各種大会、講習会、教室等、平成十三年度の事業が、各位のご協力により、無事に終了することが出来ました。

現在の厳しい社会情勢の中につても大好きなバレーボールをさせていただける理解のある家庭と健康に心から感謝したいものです。

家庭の主婦として、連盟の役員としてチームの一員として、この一年の自分はどうであつたかと、じっくりと反省をしてみると、新しく迎える年度への充実・進展へ繋げて行くのに必要ではないでしょうか。

家庭婦人バレーボールに参加することの意義は、言うまでもなく、心身の鍛錬と、多くの人たちとの交流の輪の中で、良き友を作り、自己を磨いて行くことにあると思います。

明るく楽しく美しく

事務局長 中山裕子

気持ちを新たに

会計 大木圭子

皆さんも、それぞれのところで、大事なメンバーの一員として、何か、キラリと光るものを持ち、頼りになるお母さんであり、おばあちゃんであり、チーム各位から好ましく思われる女性となるよう心がけながら、新年度を迎えて頂きたいと思います。

最後になりましたが、当連盟の充実、発展のための、更なるご協力を願いいたし

皆さんも、一年が足早に過ぎて行くので、心細い心境になることがあります。だからこそ、今日一日を大切に、この一年を有意義に生活出来るように、年の始めに祈念し、また一年を振り返る時、反省の中少しでも進展の跡が見られたなと思えるように、新年度は心して努力して行きたいと思っております。

世界的イベントW杯イヤーの年、02年が幕を開きました。静岡県家庭婦人バレーボール連盟も、来年には創立三十周年を迎えようとしております。

当連盟は、二十代から七十代の幅広い年齢層で組織されており、県登録チームには、躍動あふれる明るさ、いそじ、ことぶきチームからは力強い頑張りのパワーをいただく。複雑な時代を生き抜く為には、健康はこのうえない喜びです。いつまでも明るく、楽しく、美しくモットーに、楽しんでいただきたいと思います。布の強さは、縦糸と横糸のつながりであるとのこと。連盟も布のようなつながりを大切に歩み、ますます発展していくことを願っております。

リストラや不況などという言葉が、耳新しくもなく、日常的に聞かれるようになり、女性が社会的にも経済的にも大きな位置を占めるようになるのと時を同じくするように、バレーボールを取り巻く環境も、大きく変わろうとしているように思います。

色々な年齢層の人達の集まりで結成されているチームの力強さを感じきましたが、いそじ大会も沢山てきて、登録からはずれていそじ登録をされている先輩たちの元気さと比べると、若い登録チームが、縮小・分裂などの理由から、先輩たちの元気さとは、比較できないほどの状況にあるのではないかと思われます。生涯スポーツとしてのバレーボールを通して、健康的で心豊かな仲間づくりを継続していくお世話を、私たちも努力してまいります。

「ボールはどこ?どれを使いますか」

「カーテン閉めますか?電気はどうしますか?」

次々に質問がきます。前委員長さんに教えていただき、体育館の係の方にお願いに走ります。頭の中は真っ白。ただただ焦るばかりでした。大役を仰せつかつた翌週の真田杯の大会のことでした。役員の皆様に助けていただき、何とか初めての大会を無事終わることができました。

「競技委員長の一番の仕事は、常に会場全体を見回し、大会がスムーズに運営できているか、不都合はないか、気を配ることだけよ」と先輩が教えてくださいました。あれから一年が経とうとしています。  
まだまだ未熟な競技委員長ですが、大会がスムーズに運営できるよう、役員一同努力してまいりたいと思います。

連盟の会計を務めさせていただいてから、一年がたとうとしています。役員経験の浅い私は、不安と戸惑いの中、不慣れながらも、夢中で走り抜け、色々な面で、心に残る貴重な一年を送る事ができたと思っています。

これもひとえに、諸先輩方や役員の皆様の温かい支えや、ご協力のたまものと心から感謝の気持ちでいっぱいです。また、黙して見守ってくれている家族、そしてチームの仲間にも感謝です。  
いよいよ新年度に向けて、連盟の活動がスタートします。気持ちも新たに、初心にもどって、微力ながら、全力で皆様とともに努力していきたいと思います。

# 第32回全国ママさんバレーボール大会



## "二俣クラブ・三位入賞を果たす"

期日 平成13年7月26日～7月29日

会場 東京体育館

二俣クラブ監督 登朝子  
夢にまで見た全国大会開会式。三十年来挑戦し続け、何回かチャンスを逃がし、あきらめかけたこと。コート上で、はじめて感激の涙を流した県予選決勝戦。歩を進めながら、さまざまなことが走馬灯のように脳裏をよぎりました。

エースがベンチという緊急事態にもかかわらず

三位という成績を残せたことは、皆の心が一つになつた結果であり、チームの宝となりました。

ご指導いただき会長さんをはじめ、理事長さん、役員の皆様、声をからして応援くださった方々、他多くの皆様に感謝の気持ちで一杯です。  
ありがとうございました。

コーチ 羽入 富江

全国ママさんバレー大会に参加できたことは、本当に夢のような嬉しいことでした。チーム全員で全国をめざし、三十年目にして実現したのですから…。私は、応援団長ながらベンチに入れたことが、とてもラッキーだったと思います。試合中の皆の顔の素敵なことも再発見。小さな町から全国大会に出場できただうえ、三位になれ、「胸を張つて帰れる」と嬉しかったですね。そして、六十過ぎまでもバレーを続けていてよかったです。とつくづく感じました。

マネージャー 鈴木 岩子

念願の全国大会に出場。チーム最大の目標を達成できてよかったです。私は、ベンチから大声を出し、手が痛くなるほど応援しました。チームが一つの輪になつたことが、よい成績につながつたと思います。

長年の仲間と一緒に全国大会に参加し、よい思い出ができました。

主将 加茂 弘美 (FC)

厳しい県予選を勝ち抜き、二十一世紀最初の大會に出席することができ大変嬉しく思います。初めて東京体育館を訪れたのは、妹の応援でした。二度目の応援も。そしてついに三度目は選手として大きな舞台に立つことができました。優勝旗を持って緊張した入場行進。感動した開会式。貴重な経験をさせていただきました。万全の態勢で試合に臨めませんでしたが、力強い応援のおかげで、奇跡的に三回戦まで進むことができ、メダルまでいたくことができました。

選手 中垣かづよ (HR)

第三戦で惜しくも敗れはしましたが、その悔しさより、チームが心一つになって戦い、メダルを獲得できた喜びと、三十年間の夢がかなつた充実感、そして感動と涙で胸がいっぱいでした。

選手 中村 和江 (HR)

クラブの一員となつた時から、目標としてきた全国大会。二〇〇一年。この年に参加できた私にとって忘れる事のできない思い出になりました。

選手 山下真由美 (FL)

毎年、全国大会を目指して頑張ってきた練習の成果が現実になり、大会での四日間がとても楽しくよい思い出になりました。三位という成績まで残せてうれしく思います。

選手 松本 裕美 (BC)

大きな目標についていた全国大会出場。決まった瞬

間、頭の中が真っ白になってしましました。本当に行けるんだ、東京へ。家事も忘れ、学生時代の合宿のように、バレーづけの四日間でした。気持ちよく出してくれた家族に感謝。

選手 青柳 治美 (BL)

全国大会に出場できたことは、とても幸せなことだと思いました。家族や回りのたくさんの人達に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、チームのみんなと一緒にバレーを続けてこられて、ほんとうによかったです。

選手 杉本みどり (HL)

この度、全国ママさんバレーボール大会に、二俣クラブの一員として、また、静岡県代表として出場することができましたが、二俣クラブ悲願の全国大会出場の夢を、クラブ所属の浅い私が体験できることは、大変光栄に思っています。

選手 鈴木 栄子 (FR)

「自指せ!全国大会」が現実のこととなり、本当に嬉しかつたです。思いもよらない好成績を收めることができ、二倍の喜びです。また、チームメートと過ごした数日間、とても楽しく良い思い出となりました。

選手 花島 直子 (BR)

念願の全国大会で、皆と同じコートに立てただけで胸が一杯だったのに、メダルというお土産までもらえて、夢のような四日間でした。

選手 内野 小枝 (HC)

予選で、二年連続決勝戦に進み、やっと手にいれた全国大会。夢のような大会で、思いがけず、メダルまでもらつことができ、一生の思い出となりました。

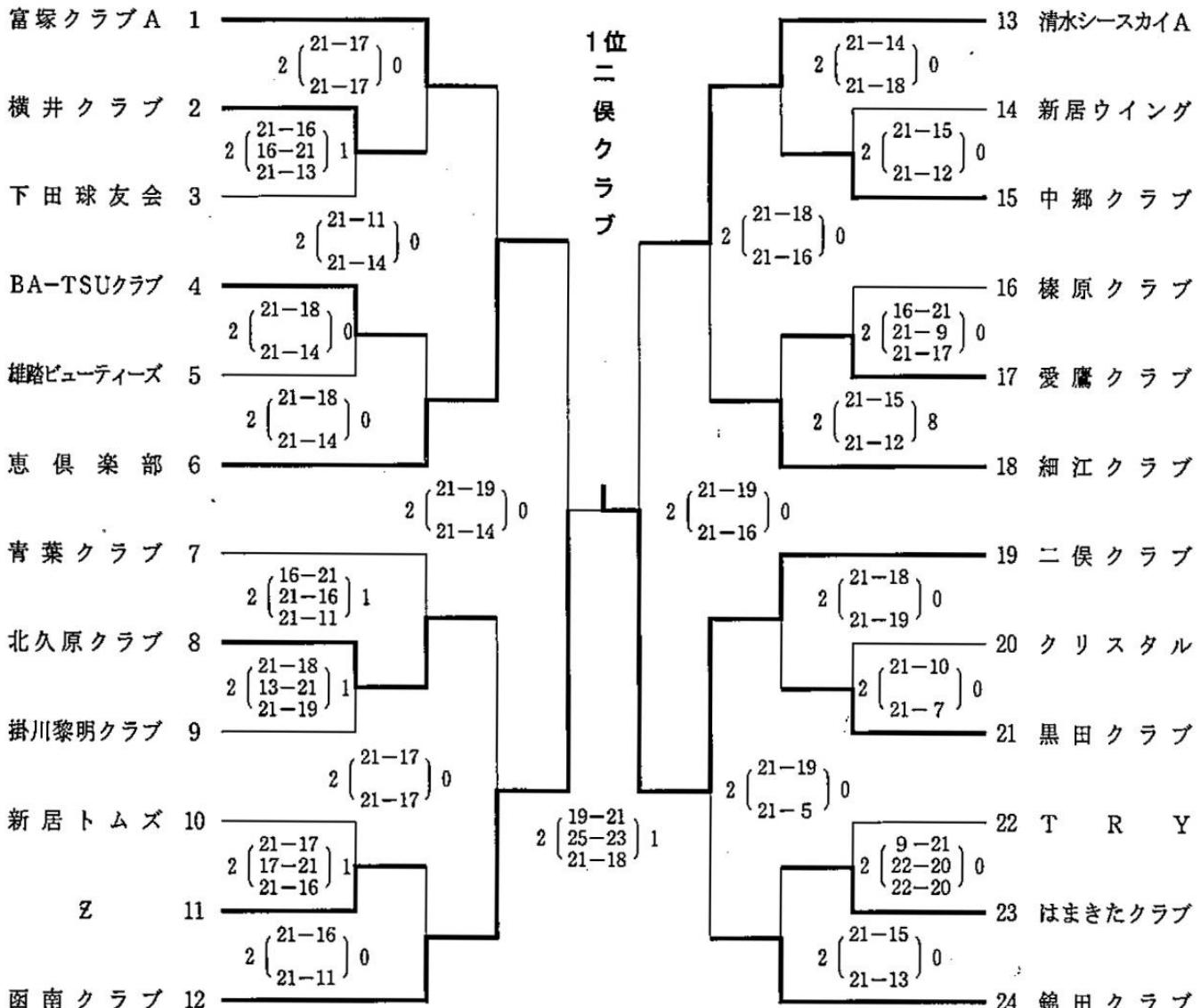
選手 粟田記美愛 (HL)

一生に一度の全国大会は、不安と責任感に押しつぶされそうでしたが、勝ちたいと思う全員の気持ちが一致し、見事、メダルをいたくことができました。自分にとって早すぎる経験でしたが、バレーをやっている人達に、ママさんバレーのすばらしさを伝えたいです。

# 第32回 全国ママさんバレーボール大会静岡県予選大会

期日 平成13年6月3日(日)  
会場 吉田町総合体育馆

## ●組合せ●



2位 函南クラブ

3位 清水シースカイA

3位 恵俱楽部

県協会前会長 木部佳昭様を悼む  
副会長 大川由美子

その日、九月二日は、富士コカ・コーラカップ県大会でした。開会式では、先生より、ご祝辞をいただき、披露されました。私は、草薙体育館より聖光学院体育馆へと移動し、一回戦が始まつて間もなくのことです。木部先生の訃報がとびこんできたのでした。突然のことで、背中が冷たくなつていたのを覚えています。

七月末、東京体育馆で開催された、第三十二回全国ママさん大会に、木部先生の弟、敏之様が県代表の二俣クラブの激励にみえておられました。その折のお話では、先生はとても元気にお過ごしていらっしゃることで、安心していました。

先生には、ママさんバレーの普及に、深い理解とお力添えをいたしましたが、それが最後となつてしましました。

三島・田方地区に元オリンピック選手を迎えて、バレー教室を行なつて、お母さんたちの社会体育への目をバレーへと向けさせられた当時のひたむきな姿が懐かしく思い出されます。

四月十五日の春季東部選手権大会では、とてもお元気なお姿を拝見いたしましたが、それが最後となつてしまいました。

帰らぬ人となられたことは、まことに悲しいことですが、先生は、私たちにくさんのすばらしい思い出を残してくださいました。

お通夜に最後の対面をさせていただきましたが、とても安らかなお顔でございました。衆議院議員として、在職三十有余年にわたり国事にご尽力くださった功績は、語るに余るほど偉大なものがあつたと信じております。どうぞ、やすらかにお眠りください。合掌。

富士コカ・コーラカップ 第25回 選抜県家庭部門トーナメント大会

期日 平成13年9月2日  
会場 県営草薙体育館

Aグループ優勝

曳馬クラブ 横井菜穂子

「やつた！ テレビに出れるよ」 決勝進出が決まった瞬間のみんなの正直な気持ちであった。決勝戦に出ること。念願のテレビ中継に、観戦ではなく、実際にセンターコートでプレーできること。やつとの思いで手に入れた。

実際に長い長い道のりであった。曳馬クラブ一番の古株の神谷は、入部十七年目で実現できた。「負けません。映るまでは」を合言葉とし、メンバー全員が同じ気持ちで、同じ目標を持ち、試合に臨むことができた。数多くの分析データからの濃縮された作戦を、監督とコーチから指示を受け忠実に守ることにより、おもしろいようにプレーできた。サーブの狙いは、全員にごほうびをあげたいくらい、みごとだった。的中した。みんなの思いが充実している証拠だと思った。コカ・コーラ杯で、ますます、チームが団結できたことを実感できた。

Bグループ優勝

掛川黎明クラブ 青山さと子

今年は、Bグループで臨んだコカ・コーラ杯。一年前、Bグループ三位という成績でした。もちろん、今回は優勝を狙っての出場でした。

しかし、試合が始まると、わがチーム、スタートの悪さが出て、一回戦、一セット目をひ

と桁台で落とすという、最悪のスタートでした。でも、今回は違いました。チーム全員が、優勝優勝の二文字は、遠のいていくかと思われました。ボールができたのです。それが優勝へとつながっていましたのだと思います。

初めての県大会優勝。勝つことが、こんなに気持ちよく、すばらしいことだと、改めて感じさせられました。また、これがチームの自信になつていくのだと思います。

これからも、バレーボールができるなどを感謝し、頑張っていきたいと思います。

Cグループ優勝

黒田クラブ 赤池美夏

黒田クラブが、今年の試合でもっとも盛り上がり、最高の思い出となつたのが、コカ・コーラカップでした。

じつとしていても汗ばんでくる季節。「体力、気力、そしてチームワークが勝負」と力は入るもの、自分達のプレーができずに終わったり、凍らせたアクエリアスが、溶ける前に試合終了といった結果に終わるのが今まででした。

そこで、今年の夏こそ、一試合でも多く勝ちたいと、ひとりひとりが、自分に目標を持って練習してきました。

9月2日、県大会。草薙体育館に来ると、緊張

準決勝。私自身は、ひとつひとつのプレーを自分で驚くほど、大切にやっていた気がします。だから、楽しくて仕方がなかつた試合でした。盛り上がつた気持ちのまま、決勝に臨むことができました。これからも、みんなで、長く、楽しいバレーボールを続けていけるよう、がんばっていきたいと思います。

これまでの優勝を手にしたのです。

これからも、みんなで、長く、楽しいバレーボールを続けていけるよう、がんばっていきたいと思

すこいじやんばあば!!

清水西クラブ 岩崎弘子

第25回富士コカ・コーラカップ県大会が9月2日、草薙体育館で行なわれました。清水西クラブは、新メンバーでスタートして初めて、県大会に出場することができました。そ

んな嬉しい日に、私は、最高齢者特別賞を戴きました。これもクラブの全員が心を一つにして頑張って出場できたおかげと感謝しております。

私には孫が三人おりますが、「ばあばはすごい」といつて喜んでくれました。家族や皆さんからも祝福していただき、この年まで

これからも、楽しいバレーを心がけ、一試合、一試合、頑張っていきたいと思います。

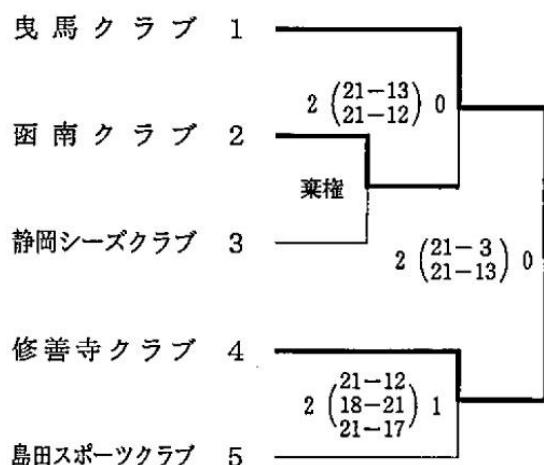
コカ・コーラボトリング株式会社様をはじめ、連盟の役員の方々に、心から感謝申し上げます。

そして、記念品のオリジナル時計は、我が家に致したいと思います。

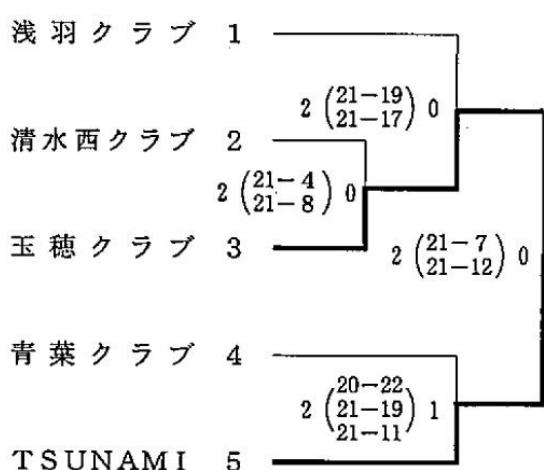
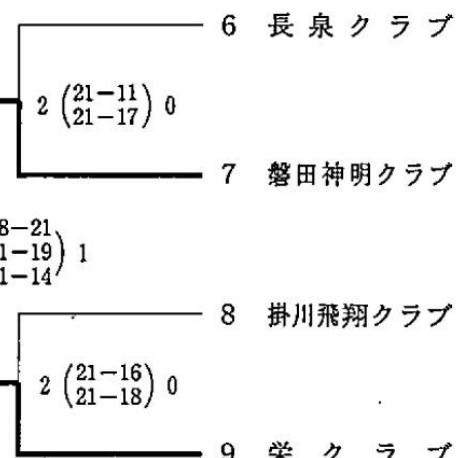
ありがとうございました。

富士コカ・コーラカップ  
第25回静岡県家庭婦人バレーボール大会

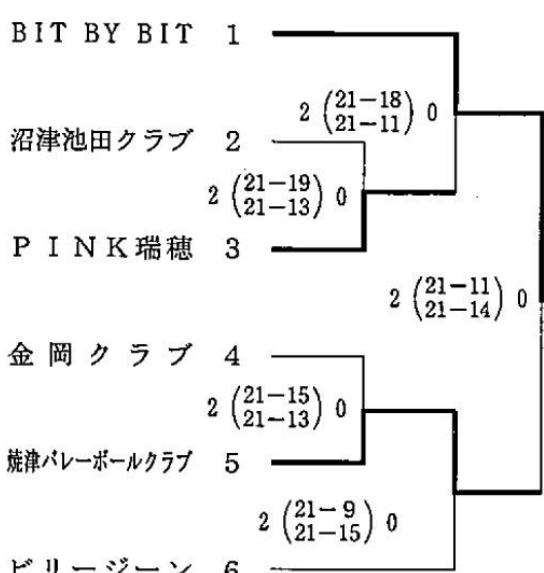
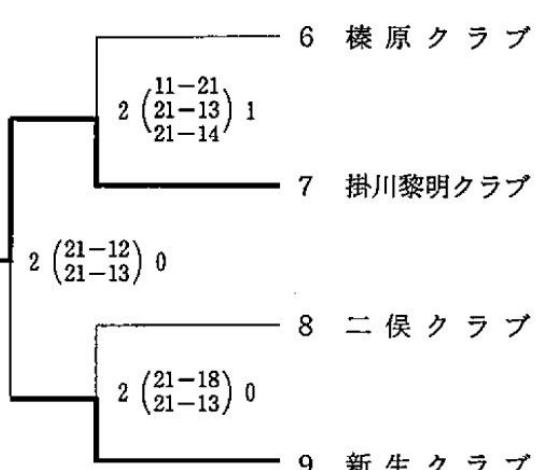
●組合せ



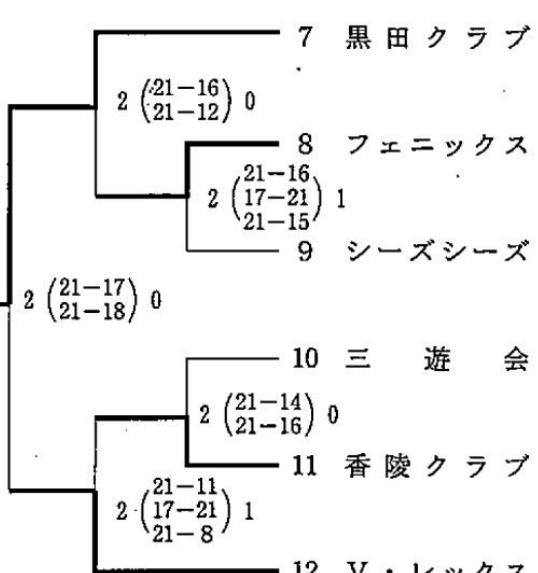
優勝  
曳馬クラブ  
**Aグループ**  
2 (21-12) 0



優勝  
掛川黎明クラブ  
**Bグループ**  
2 (21-19) 0



優勝  
黒田クラブ  
**Cグループ**  
2 (21-11) 0



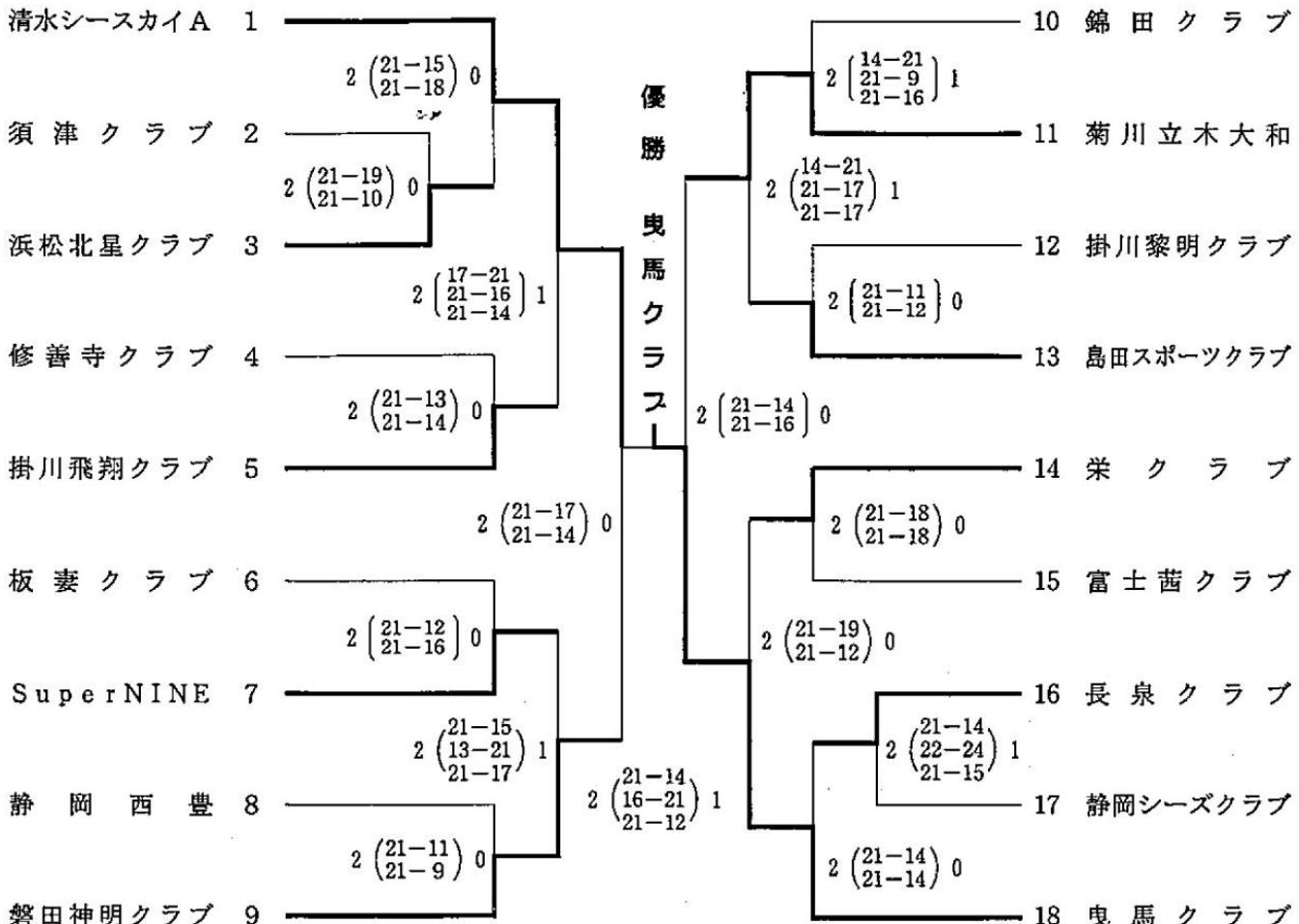
期日 平成13年9月2日(日)  
会場 草薙運動場体育館  
静岡聖光学院体育馆

# 静岡コシヒカリ杯争奪 第27回 静岡県家庭婦人バレー選手権大会

期日 平成13年11月4日

会場 草薙体育館

## ●組合せ●



準優勝 清水シースカイA

第3位 菊川立木大和

第3位 磐田神明クラブ

★コシヒカリ大会に優勝して  
曳馬クラブ 神谷幸子

「今年こそはかならず決勝へ」昨年のコシヒカリ杯大会で味わった、準決勝敗退をバネに、二十一世紀最初のチーム目標として掲げ、一年間練習してきました。

そして、遂に、その夢が叶ったのです。

草薙体育館の中央に作られた特設コート。会場の皆様に送られての入場行進。チームメイト、家族、そしてバレー・ボールに対してのありがたさを感じた一瞬でした。

毎日の生活をしていく中で、「自分という独りの人間として」全てのことを忘れて打ち込める時間。それが、わたしにとっての「バレー・ボール」なのです。そんなバレー・ボールを、これからも、永く続けることができるよう、頑張っていきます。

## ★好きやねん 大阪につどう

第13回全国いそじ大会三位に入賞

静岡クラブC 渡辺直美

全国大会の切符を手にした時から、また新たな挑戦が始まりました。開会式当日、大阪府立体育馆を目の前にして思ったことは、早く試合をしたい、良い結果を出したい。全員がそんな気持ちだったと思います。

予選リーグでは二勝し、決勝トーナメントでは岡山に2対1で敗れて、涙をのみました。それぞれの経験不足と未熟さが出て、本来の自分たちのバレーが最後まで出しきれませんでした。結果は三位でしたが、もう少し頑張れたらもっと良かったのにと思います。

全国で楽しいプレーが体験できたことは、貴重であり、思い出深いものになりました。

# 東海家庭婦人バレーボール連盟行事

## 第28回東海家庭婦人バレーボール大会

期日 平成13年10月14日

会場 磐田市総合体育馆

□出場チーム

函南クラブ 清水シースカイA

東海家庭婦人バレーボール大会審判員として  
中野まり子  
東海四県の各県代表2チームの大会とあってさ  
すがにレベルの高い試合ばかりで、圧倒させられ  
ました。

異常なまでの緊張と不安の中で、主審・副審・  
ラインズマン・記録員と、すべてやらせていただき  
きましたが、どれも反省する事ばかりで、改めて  
自分の未熟さを痛感いたしました。

でも、この貴重な体験が、自分に少しでもプラ  
スになるであろうと思うと、たいへん良い経験を  
させていただけたのだなと思います。  
プレーヤーが、安心してプレーできる、信頼さ  
れる審判員を目指していくといふことを考えております。

スローブクリーダー研修会に参加して  
堀部 裕子

平成13年7月1日に、望月理事長、水口副理事  
長、そして受講生5名で、岐阜県瑞浪市で行なわ  
れました、東海リーダー研修会に参加させていた  
だきました。

コートが3面取れる、設備のすばらしい体育館  
で講習できたことは、静岡県からでかけました私  
たちにとって、感激の思いでした。  
前田先生の講義は、分かり易く、おもしろいお  
話で、基本、ゲームの慣れ、体力が落ちていくの  
で、その維持、ズルサなどの家庭婦人のバレーボー  
ルに大切なものを教えて下さいました。

実技では、細かいプレー、チームでの動きの  
アドバイス。そして少ない人数での練習方法・集  
中力など、数多くの事を教えていただき、受講生  
一同は、一日中、すてきな汗をかいて過ごすこと  
ができました。

研修会で身に付けてきたことは、チームにもどつ  
てから、練習に生かしていけたらと思い、週一度  
二時間の中で取り入れながら励んでいます。これ  
で、今まで以上にテクニックのあるプレーができる  
れば、うれしいかぎりです。

研修会に参加出来たことを、心より感謝してお  
ります。

スローブクリーダー研修会に参加して  
栗田 美香

七月一日、先輩の役員の方々と共に、岐阜県瑞浪市で  
行なわれた研修会に、参加させていただきました。  
講師の前田先生の講義は、以前にも受講させて  
いただいたこともあったので、とても楽しみにして  
おりました。

実技指導では、ストレッチから基本のパス、レ  
シーブからサーブにつなげるまでの実践にそつ  
た練習方法、サーブがうまくなるコツ。家庭婦人  
のチームでは、どこでも悩みの一つであろう。少  
人数でのゲーム練習の方法など、どれも、すぐ役  
立つ内容でした。

前田先生の、汗とユーモアたっぷりのご指導に  
時間のたつのも忘れてしました。  
岐阜県の役員の皆さんにも、たいへんお世話を  
なり、ありがとうございました。

## 第9回東海家庭婦人バレーボールいそじ大会

期日 平成13年10月28日

会場 豊橋市総合体育馆

□出場チーム

三島シワーズ 飯田シニアA  
静岡クラブA 球趣会シニアA

## 第4回東海家庭婦人バレーボールことぶき大会

期日 平成13年8月21日

会場 焼津市総合体育馆

□出場チーム

沼津レモンズ 静岡クラブ

夕富士クラブ 飯田シニア

三島シワーズ 秋桜

ボイント富士宮 ウエスタン

伊豆球友会 しみず

## 第13回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会

期日 平成13年11月9日～11日

会場 熊本県山鹿市総合体育馆

□出場チーム

飯田シニア 純 夕富士クラブ

□出場チーム  
静岡クラブC

第13回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会

期日 平成13年10月24日～26日

会場 大阪府立体育馆

大坂府立門真スポーツセンター

# 平成13年度 県大会成績

月日	大会名	1位	2位	3位	
4/1	真田杯	Aグループ 曳馬クラブ	栄クラブ	富塚クラブA	島田スポーツクラブ
		Bグループ Super NINE	清水シースカイA	M I X	静岡シーズクラブ
		Cグループ 富士茜クラブ	清水西クラブ	BIT BY BIT	TSUNAMI
6/3	全国大会県予選	二俣クラブ	函南クラブ	清水シースカイA	恵俱楽部
9/22	東海大会県予選	函南クラブ	清水シースカイA	島田スポーツクラブ	錦田クラブ
9/30	全国いそじ大会県予選	静岡クラブC	掛川ポプラーズ	清水マリーン	つくし
9/2	富士コカ・コーラカップ 県大会	Aグループ 曳馬クラブ	栄クラブ	修善寺クラブ	磐田神明クラブ
		Bグループ 掛川黎明クラブ	TSUNAMI	新生クラブ	玉穂クラブ
		Cグループ 黒田クラブ	BIT BY BIT	V・レックス	焼津バレーボールクラブ
11/4	静岡コシヒカリ杯争奪県大会	曳馬クラブ	清水シースカイA	菊川立木大和	磐田神明クラブ

平成13年度 当連盟に対し厚いご支援を下さった共催・後援・協賛・協力各社

★眞田杯争奪優勝大会…サッポロビール(株)静岡支社

★全国ママさんバーボール県予選大会…朝日新聞静岡支局・静岡朝日テレビ

★富士コカ・コーラカップ県大会…富士コカ・コーラボトリング(株)・テレビ静岡

★静岡コシヒカリ杯県選手権大会…JA静岡経済連・静岡朝日テレビ

★親睦バボちゃん大会…富士フカ・コーラボトリング(株)



ご協力ありがとうございました

後記

日増しに厳しい不況の波！ともすれば自分自身

て下さるたくさんの人達がいることを肝に銘じ、  
バレーボールという限りなく続く一本の道を、選  
手と役員とが一体となつて努力して歩み続けてい  
きたいものだと思います。

お忙しい中、原稿をお寄せ下さった皆様、たいへんありがとうございました。

紙面の都合で全文を掲載でき  
ませんでしたが、あしからず、

了承下さい。(平野記)

